

# 貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

東京都北区豊島8丁目3番3号

株式会社 好好飲茶

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
<b>流 動 資 産</b>	<b>123,932</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>30,387</b>
現金及び預金	50,659	買掛金	21,646
受取手形	457	未払金	6,165
売掛金	37,531	未払費用	399
商品	34,146	未払法人税等	67
貯蔵品	554	未払消費税等	662
未収入金	282	預り金	191
前払費用	458	賞与引当金	1,231
貸倒引当金	△ 156	その他	22
<b>固 定 資 産</b>	<b>691</b>	<b>負 債 合 計</b>	<b>30,387</b>
(有形固定資産)	80		
機械及び装置	80	(純資産の部)	
(無形固定資産)	488	<b>株 主 資 本</b>	<b>94,236</b>
電話加入権	450	資本金	10,000
商標権	37	利益剰余金	84,236
(投資その他の資産)	122	利益準備金	1,500
出資金	50	その他利益剰余金	82,736
破産更生債権等	852	別途積立金	125,000
その他	32	繰越利益剰余金	△ 42,263
貸倒引当金	△ 812	(うち当期純損失)	△ 5,502
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>94,236</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>124,624</b>	<b>負 債 及 び 純 資 産 合 計</b>	<b>124,624</b>

※第30期

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
該当事項ありません。
- (2) たな卸資産の評価基準及び評価方法  
総平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法により算定)
- (3) 固定資産の減価償却の方法
- ① 有形固定資産(リース資産を除く)……………定率法  
なお、平成19年3月31日以前に取得したものについては、償却可能限度額まで償却が終了した翌年から5年間で均等償却する方法によっております。
- ② 無形固定資産(リース資産を除く)……………定額法
- ③ リース資産……………該当事項はありません。  
なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
- (4) 引当金の計上基準
- ① 貸倒引当金……………債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率による計算額を、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
- ② 賞与引当金……………従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、支給見込額に基づき、当事業年度に見合う分を計上しております。
- (5) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項  
消費税等の会計処理……………消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

### 2. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額	1,064 千円
(2) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務	
短期金銭債権	54 千円
短期金銭債務	2,685 千円
合計	<u>2,740 千円</u>

### 3. 損益計算書に関する注記

#### (1) 関係会社との取引高

##### ① 営業取引による取引高

経営指導料	1,200 千円
支払賃借料	624 千円

### 4. 株主資本等変動計算書に関する注記

該当事項はありません。

### 5. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額 471,184 円 61 銭

(2) 1株当たり当期純損失 △27,512 円 91 銭

(注) 1株当たり当期純損失の算定上の基礎

損益計算書上の当期純損失	△5,502 千円
普通株主に帰属しない金額	— 千円
普通株式に係る当期純損失	△5,502 千円
普通株式の期中平均株式数	200 株

### 6. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。